



県中部地区 受賞10団体7人の功績紹介

倉吉市 地域貢献賞

ししGAMO7 (6人)



小鴨コミュニティセンター事業から発足。自分たちが楽しみながら地域に役立つことを考え活動する。地区文化祭の企画運営や、とんどさんを復活させたいと、大人の協力を得て事業で盛り上げる。地元の話合いにも参加し、地域事業や子ども食堂でボランティアをするなど積極的に取り組んでいる。

打吹散歩道を美しくする会 (小倉秀夫代表、15人)



市道うつぶき散歩道線沿道で花の植栽や除草などに取り組む。植栽には学生ボランティアを募集して世代間交流の機会を創出。同散歩道は、野外彫刻が並ぶ「緑の彫刻プロムナード」と鳥取県立美術館との芸術観光導線にもなり、景観保全活動を通じて美術館オープンへの機運醸成にも貢献した。

湯梨浜町 地域貢献賞

泊1区ボランティアロード (北原順美代表、38人)



泊1区の住民の大半が会員となり、地区内の国道9号の美化活動に取り組む。「ボランティア・ロード泊」の花壇への花苗植えや樹木剪定、地域のバス停周辺の清掃などを行っている。国土交通省中国整備局長表彰や国土交通大臣から感謝状を受けるなど、地区の美化環境向上に貢献している。

ゆりはま子育てネットワーク (市川善章代表、23人)

地域の子育て当事者から出てくるニーズに対して、みんなが笑顔で、楽しく子育てができるような企画を実施。毎月、定期的に産後ケアサロン「ぐ〜たらママ」と、親子の遊び場「あそび〜」を開催し、子育て家庭の不安の解消や学習機会の提供に努めるなど、地域の子育て環境向上に貢献している。

スポーツ文化功労賞

徳本 和訓さん(45) =鳥取マスターズ陸上競技連盟=

京都市のたけびしスタジアム京都陸上競技場で9月に開催された、第45回全日本マスターズ陸上競技選手権大会に出場し、男子100歳以上45歳以上の部で準優勝に輝いたほか、同200歳では3位入賞するなど、優秀な成績を収めた。



岩田 みどりさん(49) =鳥取マスターズ陸上競技連盟=

京都市のたけびしスタジアム京都陸上競技場で9月に開催された、第45回全日本マスターズ陸上競技選手権大会に出場し、女子800歳以上45歳以上の部で準優勝を樹立。女子2000歳障害45歳以上の部では優勝を飾るなど、優秀な成績を収めた。



倉吉西高等学校弓道部男子団体 (6人)

弓道の県総体(5月)では、男子団体で4年連続27度目の優勝に輝いたほか、長崎県であった全国高校総体(8月)では男子団体で4位入賞を果たし、佐賀2024国民スポーツ大会(10月)の少年男子遠的では同部男子で構成する県選抜が7位入賞するなど優秀な成績を収めた。



湯梨浜町グラウンドゴルフ協会 (永野忠行会長、25人)

町発祥のスポーツであるグラウンドゴルフの普及振興について努めるとともに、さまざまな大会に選手を派遣しながら、発祥地大会や国際大会、ねりんピックはばたけ鳥取2024など、各種大会の企画・運営にも関わり、積極的な活動でグラウンドゴルフの発展に大きく貢献している。

琴の浦高等特別支援学校3年 青木 崇弥さん(18)

佐賀県で10月に開かれた第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に出場し、陸上少年男子の50歳(区分27)「2組」において6秒96のタイムで5位入賞を果たし、立ち幅跳び(区分27)「4組」では2歳44歳の成績で優勝の栄に輝くなど、優秀な成績を収めた。



琴浦町 地域貢献賞

安来節保存会東伯支部 ゆきちん教室 (小谷幸洋代表、19人)



中学生から80歳代までのメンバーで構成し、18年以上活動を継続している。長年にわたり町内外の芸能発表会や敬老会、高齢者施設での慰問演奏、祭りやイベントなどに出演して、伝統芸能を広めている。近年の全国大会では、優勝者や入賞者が多数いるなど、輝かしい成績を収めている。

シニアチアダンス BBドリーム (井本法子名誉監督、22人)



シニアの活躍で地域を元気にしたいと設立。椅子に座ったチアダンスを中心に、元気を届ける活動を続ける。ねりんピックはばたけ鳥取2024の盛り上げにも協力し、大会前のリレーイベントや県作成の動画にも出演。町内のイベントや福祉施設を中心に活動し、地域のにぎわいに貢献している。

スポーツ文化功労賞

岡本 直己さん(40) =中国電力=

全国都道府県対抗男子駅伝に19回出場。鳥取県代表としても活躍し、通算追い抜き人数134人の大記録で「ミスター駅伝」と呼ばれ、レジェンドとして郷土の期待に大きく貢献。「競技者としてやれることはやりきった」として引退表明したが、その記録と活動はふるさとへ元気を与えた。



鳥取中央育英高3年 小田井 康祐さん(18)

バレー部員としてインターハイなど全国大会に出場して活躍。バレー部の活動の一環として取り組んだビーチバレーボールでは、第23回全日本ジュニア男子選手権(小田井康祐・徳山天組)で準優勝。2024国民スポーツ大会の少年男子(同)で3位入賞するなど優秀な成績を収めた。



三朝町 地域貢献賞

賀茂地域協議会「わたげの会」 (倉本靖子代表、10人)

賀茂地域協議会の女性会として活発な活動を続ける女性グループ。高齢者見守り事業として成果を上げている「わたげカフェ」を開催。倉吉署と連携しながら、巧妙化する特殊詐欺の被害防止をテーマに実例を分かりやすく演じる寸劇を披露し、町民の防犯意識向上にも貢献している。



スポーツ文化功労賞

倉吉西高2年 木村 蕾太さん(17)

長崎県で8月に開かれた全国高校総体の弓道男子団体の部で4位入賞を果たした倉吉西高弓道部の主将として、部員の団結を図りながら選手としても活躍したほか、佐賀2024国民スポーツ大会の弓道少年男子遠的(県選抜)では7位に入賞するなど、優秀な成績を収めた。



北栄町 地域貢献賞

北栄町女性団体連絡協議会 (磯江華葉会長、20人)

女性が輝いて生きられる活力ある町づくりを目的に、男女共同参画フォーラムの開催など意欲的に活動している。長年ボランティアで、北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会で長いもろろ汁を調理し、ねりんピックはばたけ鳥取2024でも参加者らに提供して好評を得た。



スポーツ文化功労賞

カノウ ユミコさん =北栄町由良宿=

長年にわたり野菜をおいしく食べる料理を研究する。第9回日本ベジタリアンフード料理家賞を県内で初受賞した。北栄町と東京都を往復しながら畑地で野菜を栽培し、料理教室やレシピ作成、商品開発など幅広く活動を展開。著書も多数出版するなど、野菜料理文化の振興に貢献している。



各種 新聞講座のご案内

学校、会社、公民館などに出向いて実施します!

新聞に親しみ、新聞から学ぶ

01 楽しい新聞講座

対象 中高年

新聞の魅力や楽しみ方を紹介。新聞パズルや古新聞を使ったバッグ作りで頭や指先の体操も実施します。

02 社会人のための新聞講座

対象 社会人、大学生、短大生、専門学校生

新聞の効率的な読み方や、仕事に役立つ情報の収集方法についてアドバイス。社会人としてのスキルアップや社員研修などに最適です。

03 出前授業

対象 小学生、中学生、高校生

「学校新聞」制作に役立つポイントを伝えます。見出しなどを拾い読みする上手な読み方や、記事に必要な要素「5W1H」、「逆三角形」の記事構成などについて、演習を織り交ぜ学習します。

04 ゲストティーチャー

対象 小学生、中学生、高校生

単元学習時のコメントーターなど、通常の授業に記者が参加して助言やアシストを行います。

全講座 無料

新聞で見つける 地域の課題

お問い合わせ・お申し込み

新日本海新聞社 読者センター

TEL0857-21-2877 (月~金 10:00~17:00 祝日除く)

メール dokusha.center@nnn.co.jp Webページはこちら